



んだじゅ通信

Vol.6

Contents

1. 新院長あいさつ
2. 「乳腺外科」開設について
3. 小児科の紹介
4. 産婦人科の紹介
5. 新任医師の紹介
6. インフォメーション

山形県立新庄病院地域医療部

TEL: 0233-22-5525 (代表)

FAX: 0233-28-7277 (直通)

平成27年5月発行

1. 新院長あいさつ

山形県立新庄病院
院長 八戸茂美



平成27年4月より鈴木前院長の退職にともない院長を拝命いたしました。平成元年に地元新庄に戻り当院内科に勤務し、また22年からは地域医療部長として実に多くの疾患を通して地域の皆さまには大変お世話になってまいりました。心より感謝申し上げます。

さて本年は、長きにわたり最上の医療を支えていただいた鈴木前院長、阿部義幸先生、佐藤一賢先生はじめ12名の医師に代わり、5年ぶりの皮膚科常勤医師1名を含む11名の意欲溢れる医師を迎えることができました。医療を取り巻く環境が県下で最も厳しい当地域であればこそ職員一丸となって「最上二次保健医療圏唯一の基幹病院として地域住民に信頼と安心を与える医療を提供します」との当院ミッションを全うする覚悟ですのでどうぞ宜し



くお願いいたします。

平成26年度は、医師が増員された泌尿器科、呼吸器内科、新体制の整形外科をはじめ各科が高次の専門医療の提供に貢献してくれました。また前年末に導入した医療情報システム（電子カルテ）は稼働も安定し、その後の地域医療情報ネットワーク「もがみネット」整備事業の拡充に繋がりました。新庄地区歯科医師会のご協力のもと歯科口腔ケアの病棟往診が始まり、10月1日には「亜急性期病床」廃止に伴う「地域包括ケア病棟」への移行により在宅復帰支援への職員の意識がさらに高まりました。

これらを受けて平成27年度は、経営方針として「質の高い医療の提供」、「人材確保と育成」、「医療連携・機能分担の推進」、「経営改善」を4つの柱に据えました。すなわち、増々充実してきた医療安全、感染制御、栄養サポート、がん相談などのチーム医療をさらに拡大していくとともに、放射線治療装置などの高額医療機器を更新、整備することで県立病院としての役割を踏まえた高度の医療を提供し、かつ、クオリティ・インディケーター（医療の質の指標）を随時HP上で更新してまいります。

また、地域医療情報ネットワーク「もがみネット」を活用し三次医療機関との連携を図るとともに、皆さまのご要望に少しでも近づくように情報公開項目の拡大を検討しているところです。

一方「医療連携・機能分担の推進」については、リハビリテーション体制を充実させ地域包括ケア病棟を活用するとともに、認定看護師による訪問看護ステーションの看護師と同行しての在宅訪問や社会福祉士配置による退院支援の促進を図り、地域医療に積極的に参画することで地域包括ケアシステムの構築に対応していくつもりです。

当院は平成22年4月1日からDPC対象病院ですが、高度な医療機能を有すると見なされる今年度の当院の機能評価係数Ⅱは、全国DPCⅢ郡病院1401中46番目と昨年度よりさらに高評価を得ました。これは当院に寄せる地域住民の期待度の表れでもあり、「経営改善」への足がかりとなる明るい材料でもあります。

そして、今年度はいよいよ病院改築に向けた検討委員会が発足されます。より一層の地域連携の強化が必要な時です。何卒、今後とも皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2. 「乳腺外科」開設について

副院長（経営改善担当）（兼）地域医療部長

石山智敏（乳腺専門医）



はじめに

みなさんは”乳腺の病気”と聞いた時、どの科で診察や治療を行うと考えますか？ ”婦人科”と考えられる方が実際には多いようです。どうしても、乳腺・乳房は子宮・卵巣といった婦人科系とセットでイメージされるようです。その結果、婦人科を介しての紹介がある程度みられます。

”乳腺の病気”は一般的には外科で診ますが、なかなか分かりにくいようです。そこで、みなさんの目印となるように今年度から「乳腺外科」を標榜することとなりました。

どんな内容か？

ただ看板を掲げるだけではなく、名前にふさわしい内容になるよう努めていきます。病院として「がん診療連携拠点病院」であるだけでなく、「日本乳癌学会」の関連施設にも認定されています。これは癌に限らず様々な”乳腺の病気”に対して行っている検査・治療（手術・放射線・薬物）の内容を審査した上で学会から認定されるものです。2年に1回実績を報告して更新を受けなければなりません。

乳がんの治療は

病気を乳がんにと絞って考えた場合でも、手術だけではなく薬物、放射線などいろいろな治療方法を組み合わせて総合的に対処する必要があります。そして、これらの治療は医師だけで行えるものではありません。新庄病院には薬物療法（抗がん剤や内分泌療法剤）・緩和ケアの専門資格を持った看護師や薬剤師がいて、皆でチームを組みながら治療に取り組んでいます。さらに、放射線治療を行う医師や技師、生活面や経済面から治療を支える相談員などなど…総力戦で病気に取り組んでいます。

さらには乳房再建も

単に”乳腺の病気”を治すというだけではなく、治したうえで生活・人生上の満足感を得ていただくための乳房再建も保険診療で可能になっています。再建に関しては、形成外科の専門医も同じ病院に勤務し、共同で施設認定を申請する必要があります。新庄病院も施設認定を受けており、再建を行った方がおります。

最後に

”乳腺の病気”は癌だけでなく、さまざまな種類があります。

お悩みの方がいましたら、まずは受診されてみてはいかがでしょうか？



3. 小児科の紹介

小児科 教育研修部副部長 本間友美



小児科は新生児から中学生までの内科的な疾患を対象に診療を行い、育児支援として乳児健診や育児相談、病気の予防として予防接種も行っています。新庄病院小児科は現在、本間、仁木敬夫医師、笹真一医師の常勤医3人体制で診療を行っています。

<外来診療について>

午前中は一般外来として様々な小児疾患に対応し、予約がなくても受診できます。発熱性疾患、呼吸器疾患、消化器疾患の患者さんが主ですが、神経疾患、アレルギー疾患、腎疾患、心疾患など小児疾患全般にわたり診療し、必要時に他科や専門医療機関と連携をとり対応しています。

午後は、予約患者さんの診療のみになります。予防接種、1ヶ月健診、慢性疾患のフォローを中心に診療を行っています。午後の外来は、感染症ではない患者さんの時間にしていますので、感染防止のため、発熱、咳、鼻水、下痢や嘔吐など主として感染症が原因の患者さんは午前の一般外来への受診をすすめ、午後は開業医さんを受診していただき必要時に当科へ紹介していただくようお願いしています。

具合の悪い急患の患者さん、例えば、喘息発作やけいれん、ぐったりしている、生後3か月齢以下の発熱患者さんは午後でも随時対応していますが、受診前に電話をいただくと対応がスムーズです。

山形大学から専門の医師に来ていただき専門外来も行っています。血液外来（貧血や血小板減少症など）、心臓外来（先天性心疾患、不整脈、川崎病など）、内分泌代謝外来（低身長、糖尿病、甲状腺疾患など）、腎臓外来（ネフローゼ、腎炎など）が月2回ずつありますのでご利用ください。専門外来は予約制ですので、一度午前中の一般外来を受診して予約日を調整させていただくか、地域医療部を通してのFAX予約をとってからの受診をお願いしています。

<病棟診療について>

小児の入院は、肺炎、喘息発作、胃腸炎など感染症関連の患者さんが多いです。けいれん、腎疾患など非感染症の入院診療も行っています。

最上地域で分娩を扱う医療機関は新庄病院だけになっており、出生した新生児を診療することも小児科の大きな仕事です。当院では産科と小児科が協力し合い、定期的カンファレンスを持ち、出生前の胎児期から状態を把握するようにしています。早産児や低出生体重児、呼吸障害、黄疸の新生児の入院管理をすることが多く、呼吸管理や点滴、黄疸に対する光線療法などの治療を行っています。高度な医療が必要な場合にはNICUのある医療機関に紹介しています。

以上のように小児科は、小児に関して幅広く診療しています。どこを受診したらよいか迷っている小児については当科にお気軽にご相談ください。



4. 産婦人科の紹介

産婦人科 診療機材部長 椎名有二



当院の産婦人科について紹介します。まずスタッフです。2011年春に山形大学から中原健次准教授（S59年卒）を迎えて、椎名有二（S59年卒）との2人医長になりました。また今年度からは、高橋可菜子医師（H21年卒）と深瀬実加医師（H23年卒）が加わり4人体制となっています。

当院は新庄最上地区で唯一分娩を取り扱っている施設であり、ここ4年間は600例を超える分娩を担当してきました。帝王切開は100例前後であり、帝王切開率はおよそ18%で推移しています。

山形県では2次医療機関（日本海・新庄・済生館・置賜・米沢）と3次医療機関（県中・山大・済生・荘内）の役割分担が機能しており、妊娠34週以前の早期産や重症のハイリスク妊婦は積極的に早めに三次医療機関へ母体搬送となっています。しかし、リスクを割り振っていてもそれでもなお突発する緊急事態があります。昨年、分娩後出血が止まらず子宮全摘術になった症例がありましたが、手術は滞りなく施行され患者さんは元気に退院されました。緊急事態にも対応できる、安心と安全を提供できる水準を維持していると考えております。

婦人科の手術は80例前後で推移しています。多くは子宮筋腫や卵巣腫瘍など良性疾患の手術でしたが、悪性腫瘍についても積極的に手術を行っています。中原医長は大学で悪性腫瘍の手術を数多く担当しており、当院においてもその技量を十分に発揮しています。診断から手術、その後の化学療法、そして緩和医療と一連の治療がすべて滞りなく完了する体制が整っています。

地域の特性として、骨盤性器脱の患者さんが多数みられます。高齢の方が多いため、原則としてペッサリーを用いた保存的な対応をしていますが、希望の方には手術も行っています。骨盤性器脱の手術法はまだ変遷の途中であり、学会としてのゴールドスタンダードも定まっていません。当院では従来方法（膣壁形成術）に加えて、一時期メッシュを用いた手術も導入しましたが、最近ではより合併症が少なく効果も確実な仙棘（せんきょく）靭帯固定術という骨盤の奥の靭帯を支えにする手術を試みています。

不妊症例にも対応しています。排卵誘発、夫婦間人工授精までは行っています。更にステップアップして体外受精が必要な患者さんには、希望の施設への紹介はもちろんですが、同じ県立病院同士で河北病院の不妊症担当医と密に連絡を取り合っています。採卵の日程を決めるとき、採卵日、胚移植日、3回だけ河北病院に診察に行ってください（およそ1時間）、前後はすべて当院で対応することが可能です。

日本産科婦人科学会は、診療の4番目の柱として女性ヘルスケアを立ち上げています。当院においても午後まで外来を延長して、ホルモン補充療法、漢方、骨粗鬆症の早期診断や投薬などに幅広く対応しています。

常に新しい知見を取り入れながら、地域の皆様の実情にあった診療を心がけていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。



5. 新任医師の紹介



【氏名】西塚 麻代 【職名】医師
 【診療科】内科 【専門分野】消化器内科 【資格】
 【あいさつ】はじめまして。消化器内科の西塚麻代です。尾花沢市出身なので、早速院内で同級生や地元の方に再会したりして、どきどきしながら仕事をしています。新庄には美味しい飲み屋さんがたくさんあると聞いてきました。お酒は強くありませんが、大好きなので、飲みに行く時には是非声をかけて下さい。どうぞよろしくお願いします。



【氏名】村形 寿彦 【職名】医師
 【診療科】内科 【専門分野】循環器内科 【資格】
 【あいさつ】卒後4年目の村形寿彦と申します。自治医科大学卒で昨年までいらした橋本先生の後任という形で4月からお世話になっております。まだ、わからないこともたくさんあり、皆様には御迷惑をおかけしてしまうことがあるかもしれませんが、御指導、御鞭撻の程、よろしくお願いします。

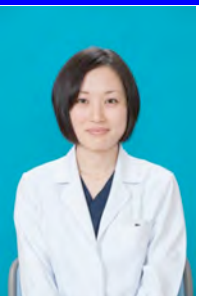


【氏名】渡邊 利広 【職名】地域医療部副部長
 【診療科】外科 【専門分野】消化器外科、肝胆膵外科
 【資格】日本外科学会専門医、日本消化器外科専門医
 【あいさつ】山形大学医学部を卒業して19年目になります。新庄ははじめての地で、生活面でもなれないことばかりですが、患者さんのために出来る限りがんばりますのでよろしくお願い致します。



【氏名】中島 拓 【職名】医長
 【診療科】整形外科 【専門分野】
 【資格】日本整形外科学会専門医
 【あいさつ】米沢の三友堂病院から異動してきました。新庄市に来るのは初めてで、何も分からないのですが、せっかくの機会ですので新庄祭りなど、楽しんで生活できればと思っています。趣味はサッカー、フットサルですので、出来る場所や機会があれば誘って下さい。

【氏名】島貫 美和 【職名】医師
 【診療科】皮膚科 【専門分野】
 【資格】皮膚科専門医
 【あいさつ】5月から赴任いたしました。外来主体の診療体制の為、ご不便をおかけすることも多いと思いますが、よろしくお願いします。



【氏名】高橋 可菜子 【職名】医師
 【診療科】産婦人科 【専門分野】
 【資格】日本産婦人科学会専門医
 【あいさつ】早いもので卒後7年目となりました。最上地方初参入です。新庄病院で医者としてのスキル、そして雪道運転のスキルをアップさせるべく日々頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



【氏名】深瀬 実加 【職名】医師
【診療科】産婦人科 【専門分野】
【資格】

【あいさつ】産婦人科に赴任して来ました、医師5年目の深瀬実加と申します。山形市出身で大学も山形大学を卒業致しました。まだまだ未熟者ですが、最上地区の女性の皆さんの為に精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。



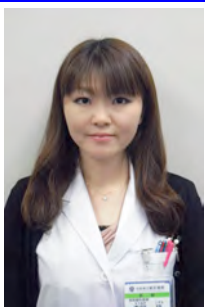
【氏名】石田 晃弘 【職名】医療情報部副部長
【診療科】耳鼻咽喉科 【専門分野】めまい、鼻アレルギー、頭頸部外科
【資格】日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医・補聴器相談医

日本頭頸部外科学会頭頸部癌専門医
日本がん治療認定機構がん治療認定医
【あいさつ】4月より耳鼻咽喉科に勤務しております石田です。耳鼻咽喉科のなかでも、めまい、鼻副鼻腔疾患、頭頸部領域を専門としています。よろしくお願ひします。



【氏名】野内 雄介 【職名】医師
【診療科】耳鼻咽喉科 【専門分野】
【資格】

【あいさつ】出身地は札幌で、趣味はスキーです。今年度はアルペンスキーの大会への参加を考えています。最上地域に関してまだまだ知らないことも多いですが、よろしくお願ひします。



【氏名】森岡 梢 【職名】医師
【診療科】放射線科 【専門分野】放射線診断
【資格】

【あいさつ】よろしくお願ひします。



【氏名】渡部 昌久 【職名】医師
【診療科】研修医 【専門分野】
【資格】

【あいさつ】初めまして。研修医の渡部昌久です。出身は米沢市です。新庄市は初めてな上、慣れない研修生活に戸惑う毎日ですが、地域や病院の方々に助けられて、まずは無事スタートをきられたと思ってます。今後とも御指導・御協力宜しくお願い致します。



6. インフォメーション

○ 病棟再編のお知らせ

当院では、昨今の入院の動向などを踏まえ、皆様の御協力をいただきながら平成27年4月1日から院内病棟の再編を実施いたしました。

入院中の患者さまには病室の移動などをお願いすることになり、患者さまおよび面会の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。

これからも地域住民に信頼と安心を与える医療を提供するため、スタッフ一同努力してまいります。

[再編後の病棟一覧]

	C棟	B棟	A棟
6 F	11病棟 内科(循環器・腎臓)		
5 F	10病棟 脳神経外科 内科(呼吸器) 眼科		6病棟 地域包括ケア病棟
4 F	8病棟 内科(呼吸器) 耳鼻咽喉科 形成外科	5病棟 外科 泌尿器科 緩和ケア 内科(消化器)	3病棟 整形外科
3 F		2病棟 産婦人科 内科(消化器・女性)	1病棟 小児科 内科(消化器)

○ もがみネットの登録案内

もがみネットでは、当院の診療データを閲覧することが可能です。

公開項目：①放射線画像、②CT、③MRI、④透視画像、⑤3D画像、⑥放射線科レポート、⑦心カテ・アンギオ画像、⑧生理検査情報、⑨内視鏡レポート

申込先：当院地域医療部 電話 0233-22-5525、FAX0233-28-7277

○ FAX予約の案内

当院では、紹介患者さんの診療予約を円滑に行なうために「FAX予約」を行なっています。

受付時間：平日午前9時から午後4時30分まで(土日祝日除く)

受付窓口：当院地域医療部 電話 0233-28-7276(専用)、FAX0233-28-7277

FAX受診後20分以内に予約結果をFAXで御連絡します。